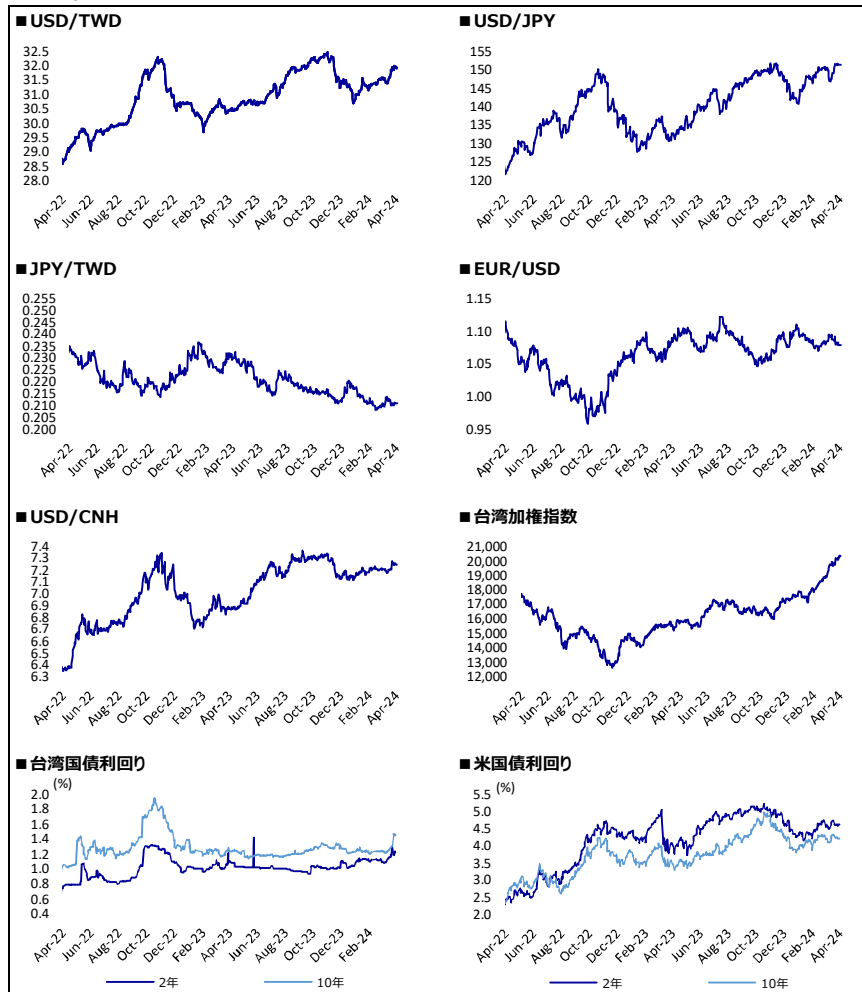


## 市場動向



## 先週の市場動向

■ USD/TWD  
先週のドル/台湾ドルは上昇。週初3/25は31.970でオープン後、中国人民銀行によるドル流動性供給を受けて、ドル/人民元が急速に下落していたことを背景に、アジア通貨買い圧力が強まる展開となり、台湾ドル買いが進み一時31.760まで下落。3/26は外国人投資家による台湾株売りや、海外投資資金送金が見られていたことを背景に、ドル買いが進み31.90台前半まで上昇。3/27も外国人投資家による台湾株売りや海外投資資金送金が大きく見られたことでドル買いが加速し、32.00まで上昇した。3/28には一時32.039まで上昇し、約4か月ぶりの高値を付ける展開となった。その後、輸出業者によるドル売りが見られ、32.00を挟み揉み合いの推移。3/29はアジアでも休場となる国が多い中、方向感無く32.00を挟み揉み合いの推移。引けにかけては上値を押さえる動きが見られ、最終的には前週比0.1%ドル高台湾ドル安の31.990で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式売り越し額は449.4億台湾ドル。

■ USD/JPY  
先週のドル/円は下落。週初3/25は151.63でオープン後、鈴木財務相より「過度な変動は望ましくない」との発言が有り151円台前半まで下落したが、FRB高官のボスチックより「2024年内の利下げは1回と予想」との発言が聞かれると、ドル買いが進み151円台半ばまで上昇。3/26は米2月耐久財受注が市場予想を上回る結果となったことで、151円台後半で底堅く推移。3/27は米金利が止まりする中、ドル買い圧力が強まり一時151.97まで上昇。しかしその後、鈴木財務相より「断固たる措置を取っていききたい」との発言が聞かれた他、「財務省、日銀、金融庁の三者会合」が急遽開催されたとの報道を受けて、為替介入への警戒感が高まり、一時151.03まで下落した。3/28は米3月ミシガン大消費者信頼感指数が堅調な結果となったことを受けて、151円台前半で底堅く推移。3/29は、米国休場で取引も閑散となる中、151円台前半でも見合いの推移となった。最終的には前週比0.1%ドル安円高の151.38で先週の取引を終了。

## 今週の見通し

■ USD/TWD 予想レンジ：31.700-32.000  
今週は上値の重い推移を見込む。32.00台では輸出企業による外貨売り需要や上値を押さえる動きが見られる中、台湾ドルは売られづらいであろう。

■ USD/JPY 予想レンジ：149.00-152.00  
今週は上値の重い推移を見込む。財務省からの為替介入への警戒感が高まる中、152円の節目は意識されやすく、円は売られづらいであろう。

## 今週の予定

|           |                                      |
|-----------|--------------------------------------|
| 4/1 (MON) | 日第1四半期日銀短観、台湾3月製造業PMI、米3月ISM製造業景況感指数 |
| 4/2 (TUE) | 日3月マネタリーベース、米2月製造業受注                 |
| 4/3 (WED) | 台湾3月外貨準備                             |
| 4/4 (THU) | 米2月貿易収支                              |
| 4/5 (FRI) | 米3月雇用統計                              |

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。